

鹿島市 橋川 さん

<経営面積>

露地かんきつ 200 a
根域制限栽培 40 a

<労働力>

夫婦 2人
臨時雇用 5人

根域制限栽培概要

太幸 5 a (H24)
石地 20 a (H30)
鹿島 15 a (H18)

水源 水路
灌水資材 チューブ式



—はじめまして。今、各産地のJAと県関係機関で構成する佐賀園芸888運動果樹振興チームでは、ミカンの根域制限栽培を推進するため、先進的に根域制限栽培を導入された方へのインタビューを通して、その魅力を発信する活動しています。様々な方に、導入を検討してもらうのが目標です。さっそくですが、橋川さんが根域制限栽培に取り組まれたのはいつからですか？

橋川さん 鹿島温州をH18に植えてから。定年で仕事を辞めた時に結実し出したかな。その後、H24に太幸とH30に石地を植えています。

—もとはお勤めされてたんですね。それまでミカン栽培はされてなかったんですか？

橋川さん もともと傾斜地に200aくらい露地ミカンがあるから、栽培してたよ。妻が頑張ってくれたから。本格的に管理をし出したのは定年してから。

—根域制限栽培を導入されたのはどうしてですか？

橋川さん 近くで栽培されてた方の圃場を見て。もとは水田だったけど、機械の管理とか大変だし、水田は自分達が食べる分だけ残して、あとは根域制限栽培圃場に変えました。家の目の前で管理もしやすいね。

—根域制限栽培で作られてみてどうでしたか？難しい部分はありましたか？

橋川さん やっぱり水管理が難しいね。10年以上やってるけど、今でも難しい。夏場はノギスで肥大を確認したり、簡易水分計で土壤の湿り具合をみて工夫はしている。でも、JAの指導員さんと振興センターの普及指導員さんがしっかり技術的にフォローしてくれるから、なんとかなってる。感謝してるよ。

—夏場の水やりは大変ですか？

橋川さん うん、大変。フィルターも毎回洗わないといけない。でも家の目の前だから大丈夫。たまに灌水チューブが破けたりもするけど、頻繁じゃないよ。

—根域制限栽培の魅力は何だと思いますか？

橋川さん やっぱり毎年品質バラつかなくて管理がしやすいところ。ブランド率もだいたい6割くらいになるかな。露地ミカンじゃ全てマルチを敷いてもそこまでいかないしね。あとは作業性がいいところ。防除もしやすいし、運搬車も入れやすい。

—臨時雇いで摘蕾や収穫に来られる方も、こちらの方が作業性いいでしょうね。

橋川さん そう。根域は品種を3つにして、次々に収穫した後、山の収穫もするんだけど、みんなこっちがいいって言う(笑)。滑なくて安全だから。

—H18に導入されてからだいぶ経ってますけど、樹がしっかりしてますね。コツはありますか？

橋川さん うーん、冬場の灌水とか葉面散布かな。堆肥やチップも土壌改良のためにのせてる。あと、始めたころから樹冠上部摘果は毎年徹底してるね。

—大事ですね。推進のために一言お願いします。

橋川さん 根域制限栽培は、佐賀県産ミカンの品質向上のためにもってこいの技術だと思う。私自身は、とにかく頑張ってる今の園地を維持して、守っていきこうと思っています。

—ありがとうございました。今年も橋川さんの美味しいミカン、楽しみにしています！



作業性を考え、通路・配置を自主設計された圃場



簡易水分計で土壤水分を確認する工夫も



連年安定生産のために、樹冠上部摘果が実施された圃場



奥様の頑張りも経営の要